

ハヤブサのヒナ

前回紹介したハヤブサのヒナ。その後も順調に生育しています。

6月9日、1羽が巣の中から出てきました。50センチほどの距離ですが孵化してから初めての外出です。急激な岩場に恐る恐るとしがみつぎながら、周囲を見渡している。遅れてきた2羽目も体中にあった白い毛が殆ど抜け、茶色い羽に代わった。親は運んできた餌を、いつものように巣の中で与えています。

翌日、ヒナたちは外出距離を5メートルまで伸ばした。6月15日には、20メートルも離れた断崖でキーキーと鳴いていた。まだ飛ぶことが出来ないので、岩肌にしがみつぎ落っこちないように踏ん張りながら餌を待っているのでしょう。



6月5日、親はヒナに餌を与え、巣を飛び立った。

ここまで離れると親はこの場で餌を与え、もう巣には戻りません。

しかし、ここは急峻な足場で油断は出来ません。親が轢きちぎって与える餌。ヒナは滑り落ちないように足下をしっかりと握りながら、羽をばたつかせバランスをとりながらの食事です。



6月9日、初めて巣を出たヒナ。



白い毛をクチバシで抜き取った。

そして19日、大空を飛び回る2羽のヒナの姿がありました。羽ばたきと滑空を繰り返しながら、親の後を追いかけていた。

狩りの技を教わりながら、ひとり立ちするまでもう少しです。



6月12日、急峻な岩場でなんとか踏ん張っている。



親から餌を貰うヒナ。親の足元には肉の塊が見える。